

令和元年度「学校アンケート」の集計結果と分析について

1 はじめに

12月に実施しました「学校アンケート」（生徒用「学習と生活アンケート」、保護者用「学校評価アンケート」）の結果をまとめましたので報告いたします。ご協力ありがとうございました。

集計の結果は、裏面の表をご覧ください。それぞれの項目ごとに、左から、「Aあてはまる」「Bどちらかと言えばあてはまる」「Cあまりあてはまらない」「Dあてはまらない」の順になっています。また、表の右欄には、肯定的回答（「Aあてはまる」と「Bどちらかと言えばあてはまる」）の合計及び割合(%)を表示しています。

全般的に高い評価を頂いていますが、結果を分析するにあたり肯定的回答の割合が70%以下なら「評価が低い」と見なして課題を整理し今後、改善に向けての取組を進めてまいりたいと思います。なお文中()内の%は左から順に、昨年度、一昨年度の結果です。

2 アンケート結果より

(1) 「学校に行くことが楽しい」について、生徒は77%(84%, 79%)・保護者は81%(83%, 89%)の方から肯定的な回答を頂きましたが、約2割の生徒が、学校に行くことがあまり楽しくないと思っていることについては重大に受け止め、原因を探ると共に、授業改善や教育相談活動を通じて、楽しい授業を創造するとともに生徒理解を進めていかなければならないと考えています。ただ、90%以上の子どもたちは「学校行事に意欲的に参加している」、「生徒会活動や委員会活動に積極的に取り組んでいる」と回答するなど、学校生活での取組に関しては充実感を持っており、今後も一人ひとりの生徒が活躍できる場を大切にしていきます。また「部活動に積極的に参加している」と答えた1, 2年生は93%であり、部活動が学校生活の充実のための重要な役割を果たしていると考えます。ただ、部活動の活動時間の上限が決められているため、短時間で効率的に練習を行い、より充実感を持たせていきたいと思えます。

(2) 「悩みや相談事など、聞いてくれる先生がいる」と答えている生徒は70%(80%, 74%)、「学校は、子どもの悩みや相談事などに適切に関わってくれている」と答えておられる保護者の割合は78%(77%, 68%)である。「先生と話そうタイム」等の相談活動や日頃の生徒との関わりの中で、子どもとの信頼関係を基礎として、子どもの小さな変化にも気づき、心に寄り添うきめ細やかな教育を常に意識し地道に取り組んでいく事が大切であると考えています。

(3) 「目標を持って学校生活を送っている」について、74%(81%, 73%)の生徒と74%(77%, 74%)の保護者の方から肯定的な回答を頂きました。83%(86%, 84%)の生徒が「学校では将来の進路や生き方について考える機会がある」と回答し、78%(83%, 68%)の保護者の方は「学校は、子どもの進路に関する情報提供に努めている」と比較的高い評価です。社会が大きく変化する今日、子どもたちが夢と目標を持って生きていけるよう、3年間を見通したキャリア教育や進路指導をより一層充実させるとともに情報提供に努めてまいりたいと思えます。

(4) 「わかりやすい授業」について、86%(77%, 86%)の生徒と59%(62%, 72%)の保護者が肯定的な評価をしています。他の項目に比べると低い評価となっています。ただ、「授業中、進んで発表する」生徒は昨年に比べ64%(47%, 47%)と増加しています。タブレット等情報機器を積極的に活用しながら「より主体的な学び」の視点から、生徒が受け身の授業ではなく、興味が持てる楽しい授業にするための改善を行ってきた結果が現れていると思う。来年度より、GIGAスクール構想の中心となる一人一台のPCタブレットを導入することにより、更に興味の持てる協働的な深い学びへとつなげていきたい。

「年間学習計画表等を利用して、計画的に学習するように意識している」「年間学習計画表や学ナビなど、子どもが意欲的・計画的に学習できるよう工夫をしている」については、生徒45%(45%, 45%)・保護者60%(68%, 57%)と、共に低い評価となっています。今年度よりシラバスや学ナビを見やすいように改良したが、普段から復習や予習に活用し目標を持って計画的に学習を進めるよう、教師から生徒へ働きかけていくことが必要と考えます。また、定期試験範囲表をより詳しくし、学習を進めるためのポイントやアドバイスを示していくなど、生徒がより意欲を持って学習できるよう工夫していきたい。

また、82%の生徒が「宿題以外の学習を自主的にしている」と答えており、本校の特徴である各種検定への参加者が極めて多いことを裏付けている。学校として、今後も検定の受検や作品応募への取組を励まし支えていきたい。

(5) 家庭学習の時間について「1時間以上勉強する」と答えた生徒の割合は55%(1年43%, 2年50%, 3年68%)で学年が進み受験をより意識するにつれて家庭学習の時間は増えているが、勉強時間が30分以下の生徒も20%(1年22%, 2年33%, 3年8%)おり、学習習慣を身につけることが必要である。計画的な宿題の設定や点検、インターネットを利用したeライブラリーの活用など、入学後の早い時期から学習習慣を確立させていくよう意識付けをしてことが重要だと考えています。また、毎日の学習時間を確保するためには、1日あたり2時間以上をゲームやスマホに費やす生徒の割合が50%(1年44%, 2年39%, 3年64%)であるという現状をふまえ、テレビやスマホ、インターネット、ゲーム等の時間を決めるなど、学校と家庭が連携・協力して時間の管理ができるよう指導していくことが必要と考えます。

また読書に関して、生徒は平均すると月4冊程度読んでいます。「子どもは、家庭でもよく本を読んでいる」と答えた保護者は47%(34%, 37%)と、高くはないが、「読書は好き」「図書室に良く本を読みに行く」と答えた生徒の割合は奈良県平均の倍以上である。生徒自らが読解力の大切さを認識し、更に読書の習慣が身に付くよう、学校においては村の支援も受けながら啓発活動や読書環境の整備等をより充実させていきたい。

(6) 「全校スピーチなど様々な発表の機会を通して、人前で話す力がついてきた」については、生徒59%(69%, 66%)・保護者79%(75%, 75%)とあまり高い評価ではありません。生徒は熱心に全校スピーチの準備し真剣に発表していますが、年間1回の発表の機会では十分な練習の場にはなっていないようである。小規模校の利点を生かして、普段の授業や学校行事において発表の場を意識して増やすことが大切と考えます。

(7) 「だれに対してもよくあいさつをする」については、生徒89%(95%, 79%)・保護者93%(92%, 83%)が肯定的にとらえています。挨拶はコミュニケーションの基本であり、「本校の生徒はよく挨拶ができる」と来校者や地域の方々からは良い評価が聞かれます。よき伝統は受け継いでいくよう引き続き指導を行っていきます。

(8) 「国際理解教育・国際交流は、今後とも推進していくべきである」については、保護者の方からは98%(92%, 89%)の肯定的な回答を頂いています。関心を持ち積極的に取り組んでいると答えた生徒は85%(80%, 60%)と年々増加しており、特に今年度はドイツのカニジウス校との交流で、国際交流の楽しさや必要性を実感したように思う。より生徒の意欲や関心をより高めるために、ALT(外国語指導助手)の協力によるイングリッシュクラブや、国際交流を進める会の協力による奈良教育大学留学生の招致による交流会を工夫していくと共に、英語検定試験の実施やスピーチ大会への参加も継続していきます。

(9) 「地域ボランティアによる学校支援活動」の推進については、93%(94%, 94%)の保護者の方から理解をいただいています。学校諸行事をPTA組織や学校支援組織と協力して進めてきたことが高い評価につながっていると捉えています。ただ、「校内や地域のボランティア活動に進んで参加している」と答えた生徒は58%(50%, 37%)と低い評価となっています。子どもたちは部活動や習い事等であまり時間の余裕がないという現状もありますが、地域からの支援を受けるだけでなく、中学校と地域が連携しながら、生徒自らが地域で活動できる機会を設けたり活動の場を提供していく必要があると考えています。

(10) 「地域の文化や伝統的な行事に参加協力している」と答えた生徒は67%(80%, 69%)、保護者は71%(81%, 74%)である。県平均よりはかなり高いものの、総合的な学習の時間を利用して地域についての学習を更に深め、故郷への誇りを持てるようにすることが、地域の伝統行事への参加や地域文化の継承に繋がっていくものと考えています。今年度は1年生において平安女学院や村茶青協の支援を受け台湾の新撥小学校と「お茶の交流」を行ったが、今後も外部の協力を得ながら工夫し取り組んでいきたいと考えています。

3 おわりに

お寄せいただいたご意見を参考にして課題を整理し、次年度に向けて教育活動の改善を進めてまいりたいと思います。昨年度の9月より「部活動休養日」の設定をしていますが、86%(92%)の保護者の方から適当であるとの回答を頂いています。また「授業参観や懇談会の時期や回数は適当である」が91%(91%, 87%)、「各種広報(学年通信、PTA広報、ホームページ等)により、学校や子どもたちの活動の様子が伝えられている」が98%(96%, 94%)と、学校での子ども達の様子を知っていただくことについても高い評価を頂いています。これまで同様、各種行事にご参加いただき気軽に中学校の様子をご覧いただき、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。また、来年度よりコミュニティ・スクールを導入し、より地域に開かれた学校づくりを目指していきたいと考えています。